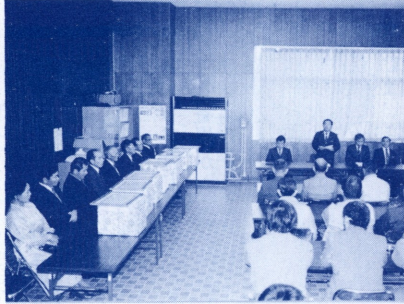




※ ①経歴年数 ②在任期間
仲宗根英輝氏(前教育委員長)
① 8年
② 52年4月
56年3月



1月4日に開かれた恒例の年始会=中央公民館で
(円内はあいさつを述べる平安町長)



安座間喜正氏(元徳佐田区長)
① 27年
② 26年9月
54年8月



② 40年7月
60年8月

町では、町表彰条例に基づいて十二月二十一日午前十時から町役場会議室で町行政功
城間源市氏(前11区事務担任者) ① 20年

仲宗根氏ら九名を行政功労で表彰

労働者(九名)の表彰を行った。町四役はじめ教育委員長、全課長、事務担任者合わせて三

去る十月一日に全国一斉に実施された昭和六十年国勢調査の速報の公表がこのほど総務庁から行われた。それによ

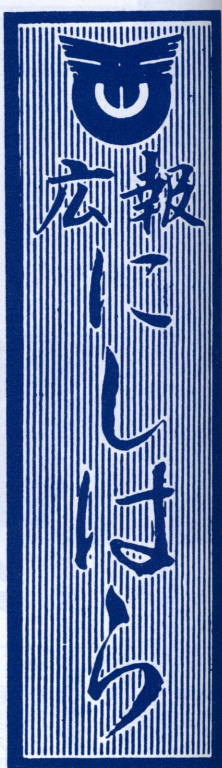
34・8%増加 対前同比

人口は二万一九八一人

昭和60年国勢調査結果(速報)

新年恒例の西原町年始会が一月四日午後四時から中央公民館で開かれた。会場には、平安恒政町長はじめ町内外の各界から約七百人の関係者が参加、にぎわった。

年始会に七百人参加



発行 西原町役場
〒903-01
西原町字嘉手苅112番地
電話 (09894)-5-4533
印刷 丸正印刷
(協)丸正印刷

町の世帯・人口
(60年12月末現在)
世帯数 6,520世帯
人口 22,265人
男 11,435人
女 10,830人

12月の人口移動
出生 41人 死亡 5人
転入 159人 転出 85人
婚姻 22件 離婚 0件



島袋宗盛氏(前農業委員)
① 12年② 47
年10月 59



① 12年② 47
年10月 59

労働者(九名)の表彰を行った。町四役はじめ教育委員長、全課長、事務担任者合わせて三



宮平宗益氏(前福祉課長)
① 15年② 2ヶ
月 月 月
60年 45年 8



① 12年② 47
年10月 59

労働者(九名)の表彰を行った。町四役はじめ教育委員長、全課長、事務担任者合わせて三



小橋川美代子氏(前家庭奉仕員) ① 12年
6ヶ月 ② 47
年6月 60



① 35年10ヶ
月 月 月
60年 24年 5

労働者(九名)の表彰を行った。町四役はじめ教育委員長、全課長、事務担任者合わせて三

労働者(九名)の表彰を行った。町四役はじめ教育委員長、全課長、事務担任者合わせて三

労働者(九名)の表彰を行った。町四役はじめ教育委員長、全課長、事務担任者合わせて三

労働者(九名)の表彰を行った。町四役はじめ教育委員長、全課長、事務担任者合わせて三

労働者(九名)の表彰を行った。町四役はじめ教育委員長、全課長、事務担任者合わせて三

労働者(九名)の表彰を行った。町四役はじめ教育委員長、全課長、事務担任者合わせて三

労働者(九名)の表彰を行った。町四役はじめ教育委員長、全課長、事務担任者合わせて三

労働者(九名)の表彰を行った。町四役はじめ教育委員長、全課長、事務担任者合わせて三

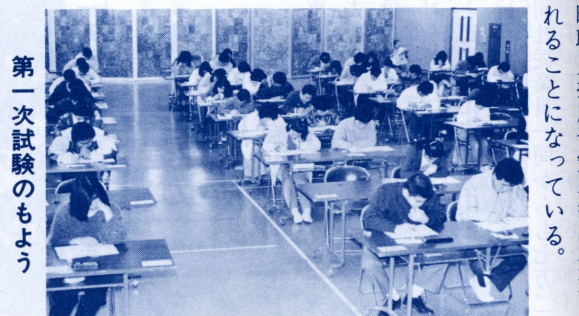
労働者(九名)の表彰を行った。町四役はじめ教育委員長、全課長、事務担任者合わせて三

柵原で不発弾撤去
一月十四日午前十一時、柵原五八三―一の南伸道路工事現場で米国製二百五十弾の撤去作業が自衛隊不発弾処理隊によって無事行われた。その日、作業現場から半径七百の町内、柵原、森川、徳佐田の三百七十五世帯(一、二四人)の住民が避難させられた。



昭和60年国勢調査男女別人口及び世帯数							
地域	人口			昭和55年 人口	昭和55年～60年 の人口増減		世帯 数
	総 数	男	女		実数	率(%)	
沖縄県	1,179,115	580,966	598,149	1,106,559	72,556	6.6	334,378
西原町	21,981	11,254	10,727	16,305	5,676	34.8	5,654

技術職受験者増える
町職員採用試験
昭和六十一年度の町職員採用試験が、一月二十六日午前九時半から中央公民館で行われ、一般事務職に六十一人、技術職に十二人が受験した。初級教養試験、作文のほか、一般事務職に事務適正検査、技術職に初級専門試験が科された。受験者は、昨年に比べて一般事務職が三十四人減、技術職が十人増。



町成人式に三五〇人参加

地域社会発展の原動力に

成人者の門出を祝う町主催の成人式は、一月十五日午後二時から中央公民館で開かれた。会場には、成人者約三百人が参加、満二十歳の節目を

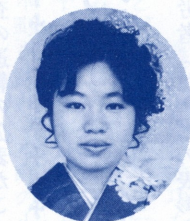
りそで姿の女性やおりはかまの男性が特に目立った。式典は、小川助役の開会のあいさつではじまり、宮平総務課長による成人者紹介、平安恒政町長の式辞、記念品贈呈、親泊輝武町議会議長・与那嶺浩町教育委員長の祝辞、大城正人さんによる成人者代表謝辞などが行われた。

今年、成人式を迎えたのは男二八〇人、女一八五人。行政区別では、三区が琉大男子寮・女子寮の影響などもあり一八七人でトップ。次いで八区の一八七人、六区の二九人の順。参加者の中で華やかな振

社会人として成長され地域社会の発展の原動力になっても「いたい」と激励した。また、大城さんは「初心に

その中で平安町長は「今日の新たな気持を忘れず、激変する社会を冷静かつ的確に判断し、人間の限りの可能性を信じ、豊かで平和な次代を創造し、責任ある行動をする

出発点は15歳 20歳はその実感



中山メリー
(小那覇)

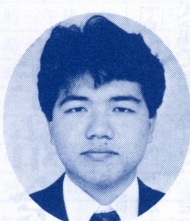
私はペルーで生れ、12歳の時に日本にきました。習慣、考え方等、勿論ちがいます。例えば成人式についてですが、ペルーでは女子は15歳で、男子は18歳に大人の仲間入りをするので、日本の様に町で式をあげると言うのはあり

ません。銘々の誕生日に大きなパーティを開きます。その習慣は私の脳裏から放れなくて自分は15歳になるのが待ちどろしかった。そして、5年前15歳になった時に、大人への道の出発点に立っていると自分自身に言い聞かせました。しかし住んでいる国が違うだけに感動はこんなに違うとは。そして、今20歳を迎え、あらためて、大人への実感がわきました。そして、15歳の時の感動と異なり、十代を後にしたこのさびしさ、20代、30代を迎えるこの責任の重さは、何とも言えない緊張感が

あります。銘々の誕生日に大きなパーティを開きます。その習慣は私の脳裏から放れなくて自分は15歳になるのが待ちどろしかった。そして、5年前15歳になった時に、大人への道の出発点に立っていると自分自身に言い聞かせました。しかし住んでいる国が違うだけに感動はこんなに違うとは。そして、今20歳を迎え、あらためて、大人への実感がわきました。そして、15歳の時の感動と異なり、十代を後にしたこのさびしさ、20代、30代を迎えるこの責任の重さは、何とも言えない緊張感が

この緊張感を忘れずに、一日一日を大切に、先輩方のご指導を受けながら、何年後に逆に指導できる様に、今後自分と言う一人の人間として磨いて行きたいと思っています。(事務員)

これから勝負



佐事 康彦
(安室)

私達の思う成人とは「成人式を終えた人々」ではありません。勿論、成人式を終えれば大人としての権利や義務をもつ事にはなりますが、それが即成人かとなるとそれがそうとは言えないと思います。

私は幼年期や少年期を、試行錯誤しながら人格を作るための「組み立ての時代」だと思っています。成人式を終えた今でもその中にいるのだと感じます。結論から言えば、まず肉体的には成人と言えるでしょう。ですが精神的な面から見ればまだまだ未熟で、どの様に振舞ったところで、先輩方には滑稽にしか思えない様な所があるのです。お分りでしょう。私の場合、何時精神的に成熟し、そして十分に「成人」なのだと思える事が出来るか知れません。

こう考える事が未熟ではあります。それが人生の黄昏の時にやっと感じる事になるかもしれない事柄であるからなのです。

私の望む所の成人とは、社会の利となり、心の中の歪を取り去った人格を持つ者、一人前に行動出来る様に、は、やはり先輩方に交わり、良い指導を受けるべきだと思います。成人式はその為の一つのパスで、本番はこれからが勝負なのです。

先輩方の良き指導よろしくお願いたします。(学生)

ビル火災を想定して救助訓練

61年東部消防出初式

東部消防組合の昭和六十一年消防出初式は、一月七日午後二時から同消防本部構内で開かれた。式典では、特別点検、優良消防職団員の表彰、管理者訓示(管理者山城時正)、西銘県知事(新垣出納長代読)、大里消防協会会長・稲福東部消防組合協議会議長、日本消防協会会長(吉村団長代読)による来賓祝辞、各個訓練、初期消火訓練、展示訓練、小川消防長の謝辞などが行われた。展示訓練では、四階のペランダに二人が救助を求めている火災を想定しての救助で、高所放水車と新しくお目見えした緩降機(救助者が体に巻きつけて高所から地上にゆっくり降る機材でロープを工夫したもの)が使われ一般住民関係者をびっくりさせた。

【五*コース】40人参加
一位 小橋川弘次(申告24分00秒、タイム24分8秒、8秒差) 二位 山城常義 三位 宮平光也 四位 前原輝雄 五位 我喜屋靖 六位 大城盛孝



特別点検のよう

健康増進のため 二百人が挑戦 町トリムマラソン

スポーツを通して町民の健康増進と融和を図ろうと、町教育委員会主催の第二回町トリムマラソン大会が、一月五日午前九時から西原小学校グラウンドで開かれた。大会に

は約二百人の町民が参加、十時に出発し三*、五*のコースにそれぞれ挑戦し、にぎわった。

東洋建設が 社協に20万円

字我謝二四一の有限会社・東洋建設(代表者・安谷屋秀夫氏)は、一月七日に「会社設立二十周年を記念して町内の社会福祉に役立てて下さい」と町社協に二十万円の寄付を行った。また、これとは別に同社従業員一同からも七万二千円が町社協に贈られた。



一斉にスタートする選手たち

怖いのは、「消したつもり」と「消えたはず」

春の全国火災予防運動 2月28日～3月13日

西原小6年生の神村高俊君

「ハツカネズミの研究」最優秀賞に

第25回沖縄県生徒科学賞作品展

昨年十一月十日、県立教育センター（那覇市首里当蔵町）で行われた第二十五回沖縄県生徒科学賞作品展で西原小学校六年二組の神村高俊君（十二歳）の「ハツカネズミの研究」が、小学校自由研究部門で見事に最優秀賞に輝いた。

その後、全国児童才能開発コンテスト（学習研究社主催）で才能開発財団理事長賞を受賞した。

「ハツカネズミの目、耳、鼻の感覚と記憶力について」を研究テーマに設け、仮説を立てて、実験、観察、写真撮

影、データの記録、考察をしていく手順はまさに小学生とは思えない程科学的であり、並大抵の努力では達成できない研究であったことがわかる。

研究の結果、ハツカネズミは、ハツカネズミの活動時間は、夜間であるため観察実験が午後九時頃から翌午前一時過ぎまでであったのがきつかったという。研究資料はB五判クリアホルダーに八十ページにわたり整理され、研究手順研究テーマからまとめまでが事細かに記録され、写真資料もたくさん使われている。

高俊君は、田場栄作先生、（理科専科）の指導の下に二年がかりでその研究テーマを追求していった。田場先生は「高俊君は観察力があること、それに加えて努力家であり責任感がある」と高く評価している。

福祉増進をめざして

町身体障害者協会が再結成

会長に玉那覇俊雄氏

町身体障害者協会の再結成総会が、一月二十五日午後二時から町社会福祉センターで開かれた。会場には、平安恒政町長、宮平吉太郎町社協会長ら来賓をはじめ会員合わせて約七十人が参加した。

総会では、①同会会則②昭和六十一年度事業計画及び予算③役員選出などが審議され承認された。同会は昭和四十八年に結成されたが、五十三以降、活動がストップしていた。

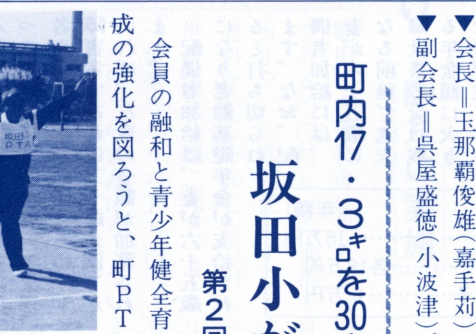
会則によると同会の目的は「会員相互の親睦と福祉の増進を図るとともに会員自ら進んでその障害を克服し、社会

活動へ参加することにより公共の福祉の向上に寄与する」としている。また新年度事業計画では、会員募集、県身体障害者スポーツ大会への参加、友愛を深めるつどい、懇談会、ピクニック、県身体障害者福祉展への参加、西原まつりへの出店参加、新年会、地域交流会などあげている。

なお役員は次の各氏。
▼会長 玉那覇俊雄（嘉手苺）
▼副会長 呉屋盛徳（小波津）
▼計画 玉那覇春子（嘉手苺）
▼理事 山畑清光（嘉手苺）、呉屋安信（小波津）、城間三郎（翁長）、石嶺正博（翁長）、
▼書記 宮平助徳（我謝）
▼顧問 糸数ノリ子（翁長）
▼監事 宇久田朝秀（池田）
▼監事 玉城康雄（与那城）、石嶺美智子（翁長）



県生徒科学賞作品展で最優秀賞に輝いた西原小の神村高俊君（前列）と受賞を喜ぶ先生方＝後列右から田場教諭（理科専科）、喜屋武校長、木村教諭（学級担任）



坂田小が二連勝

第2回町P連駅伝大会

会員の融和と青少年健全育成の強化を図ろうと、町P T

A連絡協議会（新川雅博会長）主催の第二回町P連駅伝大会が、一月十二日午前九時半か



ら西原東小学校で開かれた。会場には、町内の小中高校の五つのPTAから関係者約二百五十人が集まり賑わった。開会式の後、十時三十五分にグラウンドを五チームの選手が一斉にスタート。町内一円十七・三、三十区間で健脚が競われた。沿道には住民も出てきて声援を選手たちに送っていた。

大会の結果は、チームワークに優る坂田小が終始トップを奪い二連勝に輝いた。なお成績は次の通り。

アパート、貸店舗等の水道施設現況届のお知らせ

アパート、貸家等二世帯以上で使用する建物で水道を町の親メーター一個を取付け、各世帯に家主、又は管理者が子メーターを取付けて給水している場合、各世帯別に水道料金を町が徴収する普通世帯

の用途に併用する場合は、いずれか高い料金を適用されますので住宅、店舗等用途別に給水装置を区分することににより水道料金の格差是正を図るよう検討を進めております。そこでこのような施設の所

有者又は管理者は、左記の通り届出てくださいようお知らせします。

なお正料金を適用する場合、既存の施設については本届出を受理したものを優先しますのでもれなく届出てください。

届出先 西原町水道課
（五五―四九三四）
届出期間 2月10日～28日
対象 親メーター一個で二世帯以上に給水している施設

表彰式のもよう＝坂田小

出張納税相談

2月25日、26日に

昭和六十年分の所得税の確定申告は、二月十六日から始まります。申告期限は、三月十五日ですが、本町では、左記のとおり北那覇税務署の出張納税相談が開始されます。

記

日時 二月二十五日・二十六日（午後10時～12時、午後1時～4時）

場所 町役場二階会議室

ただいま自動車税の滞納整理強調月間中、最寄りの銀行、農協等へ納めてください

新しい年金制度

老齢年金

老齢年金には、老齢基礎年金(新国民年金)と老齢厚生年金(新厚生年金)があります。
ただし、新制度が適用される四月一日に六十歳以上の人と、すでに老齢年金を受けている人については、これまでどおりの制度が適用されます。

老齢基礎年金

①支給要件
老齢基礎年金は、国民年金の保険料を納めた期間(資格期間)と言い、保険料を免除された期間も含むが二十五年以上ある人に、六十歳から支給されます。なお、施行時に五十六歳以上の人は、資格期間が二十五年以下でもよい経過措置があります。

②年金額
老齢基礎年金は、申請によって支給開始年齢を繰り上げたり、繰り下げることができま

また、老齢基礎年金は申請によって支給開始年齢を繰り上げたり、繰り下げることができま

老齢基礎年金の額

$$600,000円 \times \left(\frac{\text{保険料納付済月数}}{\text{加入可能年数}} + \frac{\text{保険料免除月数}}{\text{加入可能年数}} \times \frac{1}{3} \right) \times 12$$

(注) 1) 600,000円は昭和59年度価格
2) 加入可能年数は生年月日に応じて25~40年

老齢厚生年金

①支給要件
老齢厚生年金は、厚生年金の年金額の計算は下表のとおりです。

また、六十歳から老齢厚生年金には経過措置があります。計算の方法は特別支給の老齢厚生年金の定額部分の額から、老齢基礎年金の額を差し引いた額が老齢厚生年金の額となります。

②年金額
老齢厚生年金の額は、老齢基礎年金の額に、老齢厚生年金の額を加算した額となります。

③加算額
老齢厚生年金の額は、老齢基礎年金の額に、老齢厚生年金の額を加算した額となります。

被保険者期間(保険料を支払った期間)のある人が老齢基礎年金を受けられるようになったとき、つまり六十五歳になったとき、図のように老齢基礎年金の上乗せとして支給されます。

しかし、今までの厚生年金は、六十歳から年金が支給されてい

ましたので、これでは支給開始年齢が引き上げられることになってしまいます。そこで六十歳から六十四歳までの間に老齢厚生年金の特別支給という制度を設けました(図参照)。ただし、特別給付を受けるには、原則として退職していることが必要です。また、在職中でも、所得が一定額未満の方には減額支給があります。



年金の額(ただし、厚生年金の加入期間にかかると額に限る)を引き算する。その差額が経過的加算として支給されます。

③加算額
厚生年金保険に二十年以上加入した方で、その人の収入によって生計を維持されている配偶者や十八歳未満の子(その子が障害者であれば二十歳未満)がいれば、左表の金額が加算されます。

配偶者加給は、妻が六十五歳になり老齢基礎年金が支給されると打ち切られます。なお、配偶者加給には、妻が六十五歳になる前後で老齢基礎年金の受け取りの年金額に大きな差が生じないよう、妻の生年月日に応じて特別加算がつけられます。

昭和六十年歳末助け合い募金として町社協に総額一八七万一千四百円が寄せられた。町社協では、去る十二月二十五日に町内のひとり暮らしの老人、母子、父子、長期療養、心身障害者、ねたきり老人、困窮多子、要援護などの百二十世帯に義援金と物品を贈った。なお募金内訳は次の通り。

▼戸別募金(一区一八区)一

商工会青年部が中央公民館に移動式鏡贈る

町商工会青年部(呉屋政富部長)は、一月九日、去る十二月のチャリティダンスパーティーの純益金の一部で中央公民館に等身大の移動式鏡(七万円相当)を贈った。贈呈式には、呉屋部長はじめ小川、赤嶺、新垣の三副部長が出席。目録を稲福教育長(館長)に手渡した。

また、町心身障害児者を育てる会(知花正勝会長)にも五万円を贈った。

贈呈式のもよう

昭和六十年歳末赤い羽根共同募金として町社協に総額三二七万七千七百円が寄せられた。その内訳は次の通り。

▼戸別募金(一区一八区、三六三二戸)一八万六千四百四円

▼法人募金(41社)一四万八千四百円

▼職域募金(一七三八名)一萬九千六百七十五円

▼学童募金(小学校三校)一六万三千三百七円

▼県医師会一萬五千元

▼県歯科医師会一萬五千元

▼窓口募金箱一五〇一円

▼その他利息一八八三元

共同募金に協力された方々のご厚意に對しこの紙面をかりて感謝いたします。

共同募金に 327万円余

昭和六十年度赤い羽根共同募金として町社協に総額三二七万七千七百円が寄せられた。その内訳は次の通り。

▼戸別募金(一区一八区、三六三二戸)一八万六千四百四円

▼法人募金(41社)一四万八千四百円

▼職域募金(一七三八名)一萬九千六百七十五円

▼学童募金(小学校三校)一六万三千三百七円

▼県医師会一萬五千元

▼県歯科医師会一萬五千元

▼窓口募金箱一五〇一円

▼その他利息一八八三元

共同募金に協力された方々のご厚意に對しこの紙面をかりて感謝いたします。

国民健康保険者証(保険手帳)の更新

3月10日~19日の指定日に

あなたが、現在使用中の国民健康保険被保険者証(手帳)は、三月三十一日までしか使用できません。四月以降は、新しい被保険者証でしか受診できませんので、次の通り新しい被保険者証に更新します。必ず指定された日に更新して下さい。

①現在使用中の被保険者証(手帳)を、更新する。

②更新後、被保険者証(手帳)を、更新する。

③印鑑
(注意事項)
①保険税未納の方は、併せて納めて下さい。
②昭和六十一年度の所得申告をしていない方は、町税務課で申告をしてから被保険者証を切替えて下さい。
③家族の中で職場の健康保険に加入している方がおりましたら、職場の保険手帳も持参して異動手続をして下さい。

各行政区の保険手帳更新日程

月・日(曜日)	行政区
3. 10(月)	1区、2区、3区、4区、5区
11(火)	6区、7区、8区、9区
12(水)	10区、11区、12区、13区
13(木)	14区、15区、16区、17区、18区、19区
14(金)	
17(月)	
18(火)	
19(水)	

は、在学又は在園証明も持参して下さい。

歳末助合に187万円
百世帯余に物品等贈る

昭和六十年歳末助け合い募金として町社協に総額一八七万一千四百円が寄せられた。町社協では、去る十二月二十五日に町内のひとり暮らしの老人、母子、父子、長期療養、心身障害者、ねたきり老人、困窮多子、要援護などの百二十世帯に義援金と物品を贈った。なお募金内訳は次の通り。

▼戸別募金(一区一八区)一

在亜町人会に中山氏

アルゼンチン在住西原町人会の第三十回定期総会が、去る十月二十日に開かれ、新しい役員が決まった。なお新役員は次の各氏。

▼会長 中山正二(嘉手苅)

▼副会長 玉那覇善考(伊保ノ浜)

▼幹事 与那嶺義勝(津波花)

▼副幹事 糸数良喜(我謝)

▼旧姓小川 会計 呉屋盛啓(小那覇)

▼副会計 小川良勝(我謝)

香典返し

字我謝七三二の新垣憲一さんから一月九日に故母・ウサさんの香典返しとして町社協に四万円の寄付がありました。この紙面をかりて新垣さんのご厚意に感謝いたします。